

# 墨水会だより

題字：32回 石出直子

(旧府立第七中学校) 都立墨田川高校全日制同窓会 発行責任者 小川浩平



海の家 楽水寮と部屋からの眺め

## 「海の家」これまでの変遷

墨田川17回 清澤 健一

昭和8年静岡県静浦村に、校友会によって海の家「静浦寮」を建設し、昭和23年静浦寮を沼津市へ譲渡するまで夏季学校・水泳訓練・補習授業として利用してまいりましたが、同年船橋市海神に海の家「逝川荘」を購入。

その後昭和36年、館山市浜田の海岸隣接用地400坪の国有地を購入し「楽水寮」を建設して、臨海学校やクラブ合宿として利用してきました。

楽水寮は、南房総国定公園の指定地域内にあり、北西に面する部屋からは対岸の三浦半島にある久里浜火力発電所と、山並みの上には富士山を望む景観が広がり、東京湾に出入る大型船などが見える素晴らしい立地にあり、これからも新たな楽水寮に引き継がれます。

夏には家族で海水浴、平素は魚釣りなど利用価値が高い寮ですので大いに期待していただきたいと思います。

来年夏に新たな楽水寮が完成予定ですので、多くの会員がご利用していただければと存じます。

今後もさらなるご支援ご協力をお願いいたします。

## 目次

会長挨拶・新役員一覧	2頁
学校長挨拶	3頁
事業報告	4・5頁
令和6年度会計報告	6頁
令和7年度予算	7頁
一般財団法人 七星会 収支計算書	8頁
寄付金一覧	9頁
美汀会会長挨拶	10頁
東京校歌祭について	
梶原徳二氏「春の園遊会」に参列	11頁
宮本雄司氏「教育振興功労」受彰	
同期会・学校運営連絡協議会報告	12・13頁
第77回生 合格実績一覧	14頁
主な部活動実績	15頁
部活動・学校行事の写真 編集後記	16頁



### 会長挨拶

墨田川18回 小川 浩平

同窓会会員の皆様におかれましては日頃より同窓会活動に對しまして多大なるご理解、ご助力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

### 新たな課題への挑戦

現在の同窓会活動状況につきまして、は、さまざまなる社会変動の中にあつて、執行部は幹事各位、会員各位、高校側、美汀会の多大なるお力添えのおかげで何とか活動を継続することができております。

しかしながら活動全体を顧みれば終身会員の弊害として、母校への帰属意識低下など課題は山積しているのが実情です。また毎年300名ほどの卒業生のうち、近年2割程度が同窓会に入らない状況であり入金収入の減少がここ数年は顕著になっております。このような財政状況の改善を始め課題山積の今年度は、昨年10月の総会で承認いただきました現執行部の大部分

の方々は一部変更はあるものの、この困難に立ち向かうべく継続の意思を表明してくれていますので、引き続きよろしくお願いいたしたく存じます。これまでご尽力いただいた諸先輩方が脈々と築いてこられた実績と成果を継承しつつ、新たな課題への挑戦をしていきたいと思ひます。

### Be reborn

#### 生まれ変わる楽水寮

さて永年の懸案であつた二寮の維持問題ですが昨年4月に軽井沢の「七生寮」を星のリゾートに売却し、館山の「楽水寮」二寮管理に集約し、老朽化した楽水寮の改築に費用を充当してまいります。

なお、楽水寮は南房総国定公園指定地域に位置し土地利用規格制限と、建屋建築制限等厳しい条件があり、現在毎月寮問題検討委員会を開催し、建替え・ランニングコスト等近隣の都立新

宿高校、立川高校の寮運営方法など参考に、クラブ活動の合宿研修、夏季期間家族での海水浴、南房総旅行の宿泊拠点等、多岐にわたる利便性を重点に、来年の夏には新たな海の寮として開設できるように進めております。

### 永続的な支援に向けて

また、墨田川高校現役生徒が学業のほか魅力ある学校生活を送れるよう、クラブ活動を中心とした什器備品寄贈、都を代表しての大会出場への資金援助支援を積極的に行つて参りたく、楽水寮建設支援を含め会員各位の皆様、これまで以上のご支援を賜りたくお願い申し上げます。



### 令和7年度・8年度 墨水会 役員一覧表

会長	小川 浩平 (高18回)
副会長	横井 正男 (高13回)
	谷澤 尚樹 (高15回)
	竹鼻 宏子 (高15回)
	加藤多恵子 (高15回)
	清澤 健一 (高17回)
	鈴木 憲康 (高18回)
	高橋 幸男 (高18回)
	山田 温 (高28回)
(幹事長)	山内 雅哉 (高30回)
	宮本 雄司 (高30回)
(副幹事長)	藤原 英明 (高43回)
	杉崎 真嗣 (高45回)
	池田 朋子 (高45回)
会計	加藤多恵子 (高15回)
	池田 朋子 (高45回)
会計監査	宮本 雄司 (高30回)
	石井 温 (高31回)
顧問	海谷 利宏 (高1回)
	梶原 徳二 (高4回)
	泉妻 秀一 (高8回)
相談役	内田 博万 (高4回)



## 地域から愛される 魅力いっぱい の七高

校長 金田 裕治

墨水会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと推察いたします。

この度、渡邊範道前校長の後任として校長に着任いたしました。大正十一(一九二二)年に東京府立第七中学校として開校以来、百年を超える歴史を誇り、高い学力の獲得だけでなく、部活動や学校行事と両立できる力を育み、主体性や自主性、協調性を養うことを目指す「文武不岐」を校訓とする伝統校に赴任できたことは、大変光栄なことであります。

また、大正、昭和、平成、そして令和へと時代が移っていく中、平成十二(二〇〇〇)年には「進学重視型単位制高校」として新たな「墨田川高校」に進化を続けていることは、これもひとえに伝統を受け継いできた卒業生の皆様、生徒たちの努力の賜物と思えます。

「墨水会だより」の書面をお借りしてエピソードを交えながら私が発見した七高の魅力をご紹介いたします。

### ◆「七高」の墨田川高校

九月三十日の前期終業式の朝、地域の方が正門近くを清掃されていましたので「おはようございます」とご挨拶をしたところ「七高の先生ですか？」と尋ねられたので「はい、校長です」と答えた出来事がありました。地域の方からは、墨田川高校が「七高」で親しまれ愛されている学校であることをあらためて痛感しました。

この出来事については、終業式でも予定していた校長講話の内容を変更して、エピソードとして話しをしました。本校が「七中」「七高」「墨田川高校」と名称を変えながらも地域に根ざした歴史と伝統がある学校として親しまれていることに誇りを持ち、後期の学校生活に向けて努力を継続してほしいという校長講話をいたしました。

### ◆見どころ満載の体育祭・七高祭

七高体育祭の特徴でもある「族」は、一年次から三年次のクラス替えがあつ

ても一年次所属が引き継がれる縦系列の活動であり、他校に類を見ない一番の特徴だと思えます。応援合戦だけでなく「族」を中心とした競技は、全てにおいて躍動感にあふれ、見どころが満載の体育祭と言えます。七高の卒業生が自己紹介とともに、「何族だった」と「族」の確認をされている理由が、この体育祭を通して良く分かりました。

文化祭としての七高祭は、日本の学校教育における文化祭のお手本のようだと思います。文化祭は、日本の学習指導要領上の特別活動の一種で、生徒が日頃の学習や活動の成果を総合的に発表させ、発表し合い、互いに鑑賞する文化的行事として位置付けられています。日本のように学校教育の一環として毎年全員参加型の文化祭が開催されている例は世界的に見て珍しいようです。今年、体験した七高祭は、日頃の学習成果や吹奏楽部をはじめとする文化部が活動の成果を十分に発揮する内容でした。特に中夜祭では、生徒の皆さんのパフォーマンスから七高生の爆発する熱量を感じました。

### ◆さらなる魅力を目指して

中学生やその保護者を対象とした学校説明会で実施したアンケートの中で、本校の魅力を尋ねたところ、「少人数・習熟度別授業」「単位制を生かした豊富

な選択科目」「進学実績」「学校行事の充実」「部活動の充実」等に期待する回答が多く寄せられていました。

回答数の多かった「部活動」は、十八の運動部、十七の文化部、合わせて三十五の部活動があり、生徒の興味・関心に応じて選択できるのは大きな魅力です。墨水会の皆様には、部活動が関東大会や全国大会出場の栄誉を受けた際には、物心両面でご支援をいただき誠にありがとうございます。お陰様で全国レベルでも好成績をおさめることができました。

また、「進学重視型単位制高校」である本校は、令和五年度から、生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす学校づくりの一環として、進学対策に組織的、計画的に取り組む学校として「進学指導推進校」の指定を継続して受けております。生徒の「進学実績」とともに、生涯にわたって探究を深める未来の創り手として送り出す取組の「総合的な探究の時間」や学校行事などを充実させ、さらなる魅力づくりが必要と考えております。

今後も墨田川高校(七高)は、様々な可能性を秘めた生徒たちの夢と未来を応援するため、教職員一丸となって教育活動に取り組みまいりますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 令和6年度 墨水会事業報告

令和6年7月1日～令和7年6月30日

定例事業は滞りなく実施しました。年4回の常任幹事会、総会及び懇親会、役員会、広報委員会（墨水会だより発行など）、東京校歌祭り参加など、担当役員が中心に開催、実施しました。また、高校支援では、部活動支援や探求学習のための図書購入支援、学校紹介DVDの更新などに努めました。一方で、寮関連事業としましては、軽井沢七生寮売却交渉と契約調印、寮内物品の搬出や移動などを行い、館山楽水寮の改築に向けた寮問題検討委員会を開催し改築プランを検討しました。令和7年度に引き継ぎます。

日 時	会議・事業名	参加人数	議 題、内 容	場所、会場
令和6年				
7.3	第3回常任幹事会	22	総会 寮 校歌祭 その他（百周年寄贈品）関東大会補助（水泳部）	高校会議室
7.13	墨田区「社会を明るくする運動」見学	11	高校吹奏楽部出演 小川 梶原 海谷 横井 加藤 宮本 杉崎 学校長 他3名	曳舟文化センター
7.15	寮管理・運営	2	楽水寮視察・管理人（田中氏）と打ち合わせ 谷澤・清澤	楽水寮
7.20	寮管理・運営		楽水寮 7.19-8.21 開寮（高校関係者のみ） 大人83人 子供15人	楽水寮
7.26	寮管理・運営	3	七生寮清掃など 谷澤・清水・上田	七生寮
7.31	寮検討委員会	13	七生寮売却に向けた経過報告など	曳舟文化センター
8.17	七生寮売却交渉	3	軽井沢星野リゾートと交渉 小川 谷澤 海谷	FAXによる回答送付
8.21	寮管理・運営	1	楽水寮 閉寮 谷澤 （管理人田中氏から各種報告 98名利用など）	楽水寮
8.22	役員会	10	総会準備 七生寮売却関連等	すみだ生涯学習センター
9.2	第4回常任幹事会	22	総会全般（総会出欠往復はがき配布）の件 七生寮売却の件 東京校歌祭の件など	高校会議室
9.5	事業報告作成作業	2	谷澤 清澤	鎌ヶ谷
9.7・8	学校文化祭見学	2	清澤 鈴木	高校
9.12	決算・予算案作成 打ち合わせ	3	加藤 山内 谷澤 *総会準備	山内法律事務所
9.26	総会会場打合せ	4	清澤 谷澤 山田 杉崎 （東天紅 海老原氏）	東天紅 上野店
9.28	役員会	10	総会準備 各種詳細打ち合わせ	すみだ生涯学習センター
10.3	総会会場物品搬入	3	清澤 山田 杉崎	東天紅 上野店
10.5	102回 墨水会総会 懇親会	52	懇親会アトラクションに吹奏楽部卒業生18名が参加	東天紅 上野店
10.17	第2回学校運営 連絡協議会	2	小川 山田	高校会議室
10.22	役員会	13	小川 山内 他 総会関連報告及び反省、校歌祭・墨水会名簿発刊・会報発刊などについて検討	すみだ生涯学習センター
10.27	第31回東京校歌祭り参加	16	清澤 小川 他（校歌、応援歌 披露）	杉並公会堂
11.4	寮管理・運営運営	1	楽水寮視察 寮門外見廻り 破損倉庫応急処置など 谷澤	楽水寮
11.11	第1回広報委員会	6	墨水会だより発行スケジュールなど 小川 山田 谷澤 清澤 横井 竹鼻	高校同窓会室
11.28	第2回広報委員会	6	会報原稿依頼・記事割付など 小川 山田 清澤 横井 竹鼻 サラト村井氏	高校同窓会室
11.29	寮関連	2	七星会代表理事変更手続き関連 小川 海谷	海谷弁護士事務所
12.3	寮関連	2	七星会代表理事変更手続き関連 小川 海谷	海谷弁護士事務所
12.6	第1回常任幹事会・忘年会	20	寮関連報告 総会関連報告 会員他 校長 美汀会長 墨汀会長出席	浅草 今半
12.25	第3回広報委員会	6	墨水会だより集約原稿確認など 小川 山田 谷澤 横井 清澤 サラト村井氏	高校同窓会室
令和7年				
1.7	第4回広報委員会	6	墨水会だより発行 サラトとの調整など 小川 山田 谷澤 竹鼻 清澤 サラト村井氏	高校同窓会室
1.30	第5回広報委員会	5	墨水会だより原稿最終確認など 小川 山田 谷澤 竹鼻 清澤	高校同窓会室
2.6	第3回学校運営 連絡協議会	2	小川 山田	高校会議室
2.12	名簿関係打ち合わせ	2	谷澤 サラト村井氏	高校同窓会室

日 時	会議・事業名	参加人数	議 題、内 容	場所、会場
2.13	七星会役員会	10	七生寮売却最終会議、7年度の楽水寮開寮関連検討 小川 他	すみだ生涯学習センター
2.26	寮関連	2	楽水寮視察 谷澤 清澤	楽水寮
3.5	第6回広報委員会	3	墨水会だより・名簿配布作業 山田 清澤 野崎教諭	高校同窓会室
3.7	新入会員名簿配布	9	野崎教諭、卒業学年担任 ☆新入会員248名(卒業生302名)	高校3学年教室
3.8	高校卒業式参列	3	小川(祝辞) 泉妻 横井	高校体育館
3.13	寮関連	3	七星会名義変更手続き 小川 竹鼻 加藤	東京東信用金庫
3.27	七星会 理事会 ・評議員会	13	新理事・新評議員挨拶 七生寮売却手続き及び楽水寮開寮関連検討 小川 谷澤 他	すみだ生涯学習センター
4.7	寮関連	5	七生寮売却・引渡し作業関連会議 小川 他	高校同窓会室
4.8	高校入学式参列	4	小川(祝辞) 海谷 梶原 横井	高校体育館
4.16	第4回常任幹事会準備	5	議題整理等 小川 谷澤 清澤 竹鼻 加藤	高校同窓会室
4.17	寮関連	3	七星会口座残高証明書取得 宮本会計事務所へ 小川 加藤 宮本	東信・ゆうちょ銀行
4.21	第2回常任幹事会	26	新校長挨拶 寮関連報告 総会準備関連協議 墨水会だより発送関連 作業 新入会費値上げ・名簿作成・校歌祭などについて検討 小川 山内 谷澤 清澤 他	高校会議室
4.24	七生寮売却契約調印	5	小川 海谷 谷澤 山内 星野リゾート担当	銀座星野リゾート事務所
	売却入金金確認等	2	小川 竹鼻	東信本店
4.26	現役3年生保護者 に入会案内	1	3年生保護者会にて墨水会活動報告・入会事前案内 小川	高校体育館
5.2	高校支援打ち合わせ	1	DVD変更撮影日程相談、七生寮ピアノ等寄贈運搬段取り等 小川	高校校長室
5.9	高校体育祭見学	5	小川 海谷 鈴木 山内 竹鼻 (寄贈テント設置の確認)	足立区舎人陸上競技場
5.21・22	七生寮ピアノ等 搬出・学校設置	4	小川 竹鼻 加藤 山内	七生寮
5.22	七生寮備品仕分け ・搬出	7	小川 谷澤 清澤 竹鼻 加藤 井上顧問子息夫妻	七生寮
5.24	寮関連	2	七生寮の布団等を楽水寮へ搬出 寮の点検	七生寮
5.29	第1回学校運営 連絡協議会	2	小川 山田	高校会議室
	七生寮備品搬入	1	小川	高校会議室
	寮問題検討委員会	12	今後の楽水寮関連スケジュール協議 小川 谷澤 山内 海谷 他	すみだ生涯学習センター
6.10	総会準備打ち合わせ	3	準備スケジュール確認 常任幹事会資料作成 東天紅との交渉など 清澤 山田 杉崎	上海菜館
6.20	高校支援	1	探究学習(千葉大訪問) 謝礼金補助(校長へ)	高校校長室
	寮問題検討委員会 事前打合せ	3	小川 谷澤 山内	高校同窓会室
6.26	高校支援	1	学校紹介DVD修正撮影立会 小川	高校該当各所
	寮問題検討委員会	12	楽水寮建て直し計画など検討	すみだ生涯学習センター
6.28	総会準備打ち合わせ	4	会場との折衝 懇親会関連の検討(料理など) 清澤 山田 杉崎 東天紅海老原氏	上野東天紅

以下、令和7年度 活動途中経過(令和7年7月1日～)

7.9	第3回常任幹事会	22	総会準備・懇親会内容 寮関連報告 校歌祭 など	高校会議室
7.18	高校支援	1	学校紹介DVD修正編集作業 小川	幕張本郷トーナ映像㈱
7.23	七星会理事会・ 評議員会	18	新理事・評議員承認 各種議案承認	すみだ生涯学習センター
7.24	寮問題 検討委員会	13	建て替え具体案の検討など (予算・運営見込み資金 学校への各種聞き取りなど)	すみだ生涯学習センター
8.9・10	寮関連	2	楽水寮視察と新宿高校寮訪問 谷澤 清澤	楽水寮
8.25	第4回常任幹事会	21	総会・懇親会内容討議・確認 案内状郵送手配 高校支援(部活動支援)報告 校歌祭関連確認 など	高校会議室
9.1	役員会	4	役員役割分担打合せ 小川 谷澤 竹鼻 加藤	五反野
9.12	役員会	13	総会準備(資料確認、当日の役割分担、懇親会出席者関連など) 他	すみだ生涯学習センター
9.24	総会関連打ち合わせ 寮問題検討委員会	5 15	総会関連資料最終確認 小川 山田 清澤 谷澤 山内 改築プラン案検討、基本構想など 小川他検討委員	高校同窓会室 すみだ生涯学習センター
10.4	第103回総会・ 懇親会	64	令和6年度事業報告・会計報告などと令和7年度事業計画・予算案など	上野東天紅

## 令和6年度 墨水会会計報告

## 収支計算書

令和6年7月1日から  
令和7年6月30日まで

## 1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	摘要
令和6年度卒業生入会金	1,984,000	248名×8,000円
名簿代(令和6年度卒)	1,062,100	247名×4,300円
寄付金	1,111,000	73名
総会会費	503,000	参加費、祝金
利息	8,811	定期預金・普通預金の利息
当期収入合計(A)	4,668,911	

## 2 支出の部

科目	金額	摘要
会報	480,700	墨水会だより2,000冊
名簿小冊子	176,022	300冊
学校補助金	1,493,181	水泳部関東大会・インターハイ出場支援金、寄贈(図書、アルミベンチ、テント)等
総会費	553,411	東天紅(会場費・飲食代等)、アトラクション謝礼
通信費	163,437	郵送代(総会、会報)
会議費	264,981	常任幹事会・役員会・編集委員会等の会議室料、飲食代等
渉外費	60,000	校歌祭参加費・広告代
総務費	230,000	担当者業務費
寄付金手数料	12,600	郵貯での寄付金受領の手数料
雑費	11,227	インクカートリッジ、usbメモリー、送金手数料等
当期支出合計(B)	3,445,559	

## 3 当期剰余金の部

科目	金額	摘要
当期収入合計(A)	4,668,911	
当期支出合計(B)	3,445,559	
当期収支差額(A)-(B)	1,223,352	
期首在庫品(C)	2,601,500	605冊×4,300円
期末在庫品(D)	1,539,400	358冊×4,300円
当期剰余金(A)-(B)-(C)+(D)	161,252	前期剰余金184,348

## 繰越金計算書

前期繰越金	56,163,106	
当期剰余金	161,252	
次期繰越金		56,324,358

以上のとおり御報告申し上げます。

令和7年7月31日

墨水会 会長 小川 浩 平  
墨水会 会計 加藤 多恵子

## 開始残高

令和6年7月1日

## 1 資産の部

(単位:円)

定期預金	22,011,296	(口座番号0000027 22,011,296)
普通預金	31,520,316	(一般口座 2,766,729) (寄付口座 17,536,114) (百周年経費用口座 0) (小口受渡用口座 1,000) (郵貯寄付口座 11,216,473)

現金 29,994  
在庫品 2,601,500

資産の部合計 56,163,106

## 2 繰越の部

繰越金	55,978,758
前期剰余金増加額	184,348
繰越の部合計	56,163,106

## 閉鎖残高

令和7年6月30日

## 1 資産の部

(単位:円)

定期預金	47,016,888	(口座番号0000027 22,016,888) (口座番号0000028 25,000,000)
普通預金	7,542,416	(一般口座 2,688,926) (寄付口座 3,548,497) (百周年経費用口座 0) (小口受渡用口座 1,000) (郵貯寄付口座 1,303,993)

現金 225,654  
在庫品 1,539,400

資産の部合計 56,324,358

## 2 繰越の部

繰越金	56,163,106
当期剰余金増加額	161,252
繰越の部合計	56,324,358

## 監査報告書

墨水会定時総会議長 殿

令和6年度墨水会収支計算書及び諸帳簿関係書類を監査した結果、その数字は正確であり、かつ正当であった。

各帳簿、領収書、証拠書類の保存整理も整然としてあったことを御報告申し上げます。

令和7年8月21日

墨水会 会計監査 宮本 雄司  
墨水会 会計監査 石井 温

## 令和7年度 墨水会予算

令和7年7月1日から  
令和8年6月30日まで

## 1 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
卒業生入会金	2,500,000	1,984,000	516,000	250名×10,000円
名簿代	750,000	1,062,100	△ 312,100	250名×3,000円
寄付金	1,500,000	1,111,000	389,000	
総会会費	500,000	503,000	△ 3,000	男性10,000円、女性8,000円
利息	10,000	8,811	1,189	
収入合計(A)	5,260,000	4,668,911	591,089	

## 2 支出の部

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
会報	500,000	480,700	19,300	墨水会だより2,000冊
小冊子名簿	200,000	176,022	23,978	300冊
学校補助金	800,000	1,493,181	△ 693,181	クラブ活動支援等
総会費	600,000	553,411	46,589	総会・懇親会、アトラクション謝金
通信費	200,000	163,437	36,563	会報送料、総会案内等
会議費	400,000	264,981	135,019	常任幹事会、役員会、広報委員会等
渉外費	100,000	60,000	40,000	校歌祭、美汀会・墨汀会・七星会、慶弔費
総務費	400,000	230,000	170,000	担当者業務費、交通費
寄付金手数料	20,000	12,600	7,400	寄付金振込手数料負担
雑費	20,000	11,227	8,773	事務用品費、送金手数料
予備費	2,000,000	0	2,000,000	(一財)七星会支援金等
支出合計(B)	5,240,000	3,445,559	1,794,441	

令和7年9月24日

墨水会 会長 小川 浩平  
墨水会 会計 加藤 多恵子

## 一般財団法人 七星会 収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(現金フロー)

(単位:円)

## 1 収入の部

科目	予算額	執行額	増減	備考
1. 事業収入				
七生寮収入	0		0	
楽水寮収入	300,000	282,500	△ 17,500	
2. 寄付金収入	0	0	0	
3. 預金利息	2,000	7,176	5,176	
4. 雑収入	0	22,562	22,562	国税還付金・電柱敷地料
5. 定期預金取崩額		2,000,000	2,000,000	
当期収入合計	302,000	2,312,238	2,010,238	
前期繰越収支差額	2,799,800	2,799,800	0	
収入合計	3,101,800	5,112,038	2,010,238	

## 2 支出の部

科目	予算額	執行額	増減	備考
1. 事業費				
給料手当	300,000	300,000	0	楽水寮管理人
臨時雇賃金	250,000	200,000	△ 50,000	
食糧費	0	0	0	
福利厚生費	10,000	5,250	△ 4,750	NHK受信料
通信運搬費	150,000	89,509	△ 60,491	
消耗品費	100,000	0	△ 100,000	
水道光熱費	500,000	268,190	△ 231,810	昨年度 434,274円
保険料	150,000	199,950	49,950	保険(七生寮・楽水寮)
委託費	250,000	218,500	△ 31,500	星野管理料等
雑費	150,000	27,860	△ 122,140	
事業費合計	1,860,000	1,309,259	△ 550,741	
2. 管理費				
会議費	40,000	58,439	18,439	
旅費交通費	350,000	283,000	△ 67,000	
印刷製本費	0	0	0	
修繕費	200,000	0	△ 200,000	
事務委託費	330,000	330,000	0	
租税公課	400,000	374,918	△ 25,082	固定資産税(七生寮) /源泉所得税
管理費合計	1,320,000	1,046,357	△ 273,643	
3. 固定資産取得支出				
内外部改修工事支出	0	0	0	
什器・備品購入支出	100,000	341,000	241,000	エアコン取得(6年償却)
固定資産取得合計	100,000	341,000	241,000	
4. 施設維持積立金	0	0	0	
5. 法人税・住民税・事業税等	211,000	211,000	0	
支出合計	3,491,000	2,907,616	△ 583,384	
収支差額	△ 3,189,000	△ 595,378	2,593,622	

(参考) 損益

定期預金取崩額	△ 2,000,000
固定資産取得	341,000
減価償却費	△ 288,559
税引後当期純利益	△ 2,542,937

# 第29回ご寄付の報告

墨水会事務局 17回 清澤 健一

今回は七十三名の方から百一十二万二千円の寄付をいただきました、誠にありがとうございます。今までに頂いた寄付金も四千万円以上になり百周年事業や学校支援、寮維持で使わせていただきます。

## 第29回寄付金一覧

令和7年1月より12月末

海谷 利宏	1回	10万円
村田 和夫	12回	10万円
池野 秀基	16回	5万円
小川 浩平	18回	5万円
山田 温	28回	5万円
加藤 多恵子	15回	4万円
増田 達男	旧職員	3万円
竹鼻(和田)宏子	15回	3万円
谷澤 尚樹	15回	3万円
清澤 健一	17回	3万円
山内 雅哉	30回	3万円
富田 正則	2回	2万円
林(永野)綾子	9回	2万円

村田(國馬)敏弘	9回	2万円
富田 角次郎	13回	2万円
木場 藤一郎	13回	2万円
田村 光昭	15回	2万円
高橋 幸男	18回	2万円
村瀬 哲生	21回	2万円
須藤 誠一	22回	2万円
荒川 博	中23回	1万円
長谷川 正雄	4回	1万円
内田 博万	4回	1万円
直井 勝	5回	1万円
宇佐美 恒明	8回	1万円
井上 幹夫	8回	1万円
唐松 重義	9回	1万円
志村(新保)恭子	10回	1万円
小原(加藤)千恵子	10回	1万円
菊池 満雄	12回	1万円
保坂 一壽	12回	1万円
三橋 信義	15回	1万円
内藤(本田)和子	15回	1万円
荒井 徹	15回	1万円
鈴木 一慈	15回	1万円

海老澤 浩	17回	1万円
森山 紀之	18回	1万円
専田(鈴木)三枝子	18回	1万円
長塚 昌宏	18回	1万円
塚越 健次	18回	1万円
佐々木(村松)節子	18回	1万円
羽成 守	18回	1万円
齊藤 よし子	22回	1万円
別所 正美	23回	1万円
末永 昌文	23回	1万円
小野里 新一	24回	1万円
平山 等	24回	1万円
前田 清隆	24回	1万円
正村 和男	28回	1万円
廣木 栄子	30回	1万円
宮本 雄司	30回	1万円
柳 秀樹	41回	1万円
荻野 芙美江	12回	5千円
武藤 徹夫	13回	5千円
林 重輝	18回	5千円
河野(中村)その子	18回	5千円
岩崎 健夫	23回	5千円

## 第28回寄付者 (前回不記載)

本保(皆川)礼子	23回	5千円
岩崎(塩崎)美知子	26回	5千円
上田 大平	26回	5千円
石塚 重一	30回	5千円
山成(前田)あきら	30回	5千円
福嶋 一憲	13回	3千円
米山 至任	13回	3千円
大澤(熊沢)けい子	18回	3千円
長澤 淑夫	28回	3千円
日野(伊藤)康子	43回	3千円
板倉 東雄	9回	2千円
三宅 正高	13回	2千円
(匿名)		
藤田 敏夫	48回	1千円

七高ウエスト46回同期会	46回	2万円
横打 圭子	24回	1万円

## 美汀会会長 挨拶

江藤みゆき



令和7年度美汀会会長を務めております、江藤みゆきと申します。

墨水会の皆様には、七高生の充実した学校生活のため、日頃より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。保護者の一人としても、そのご厚情に深く御礼申し上げます。

勉強や部活動、生徒会活動、さらには学校行事など、本年度も七高生は活気に満ちた毎日を送っております。行事を通して触れ合う生徒たちの笑顔を見るたびに、いつも安心させられております。七高生の穏やかで優しい気風は、先輩方から受け継がれてきた素晴らしい長所なのだと思います。

春に開催された体育祭では、競技場の本部席に墨水会様からご寄贈いただいたテントが加わ

り、壮観な並びとなりました。書体のデザインも美汀会のテントに合わせていただいたことで、統一感のある、大変立派な情景でした。

また、校庭のベンチや部活動へのご支援など、多方面にわたり温かいお力添えをいただいておりますこと、あらためて深く感謝申し上げます。

美汀会は、生徒たちへのサポート、そして先生方や保護者の皆様との連携強化を目指して活動しております。墨水会の皆様方をはじめ、多くの方々を支えていただきながら、美汀会メンバーはそれぞれの立場で力を尽くしているところです。

活動を振り返りますと、お会いするすべての方が七高を応援してくださり、またその愛情が、生徒たちを大きく後押ししてくれていたと思います。多くの方に愛されている、素晴らしい環境の学校だと感じました。

墨水会の皆様におかれましては、今後とも七高、七高生への変わらぬ愛情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。また美汀会につきましても、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 東京校歌祭報告

墨田川18回 鈴木憲康

昨年の東京校歌祭は、2025年10月26日(日)、杉並公会堂にて開催されました。我が墨田川高校は15時より出演し、前回以上の参加者があり、迫力ある演奏ができました。参加された方、積極的に参加を勧めてくださった方々に心よりお礼申し上げます。

本校は、前回と同様、都立墨田川高校応援歌、滝廉太郎作曲の「花」、そして校歌の3曲を歌いあげました。

今回の大きな特徴は、できるだけ他校の校歌も聴こう、ということ。もちろん全部の校歌を聴けることは理想ですが、直前の発声練習やリハーサルも必要です。そこで組織委員会は全体を二つに分け、自分の出演するグループの校歌はできるだけ聴こう、という工夫をしてみました。そのためにリハーサルは自分の前グループの出演中に行いました。墨田川高校は後半グループなので、自席で他校の校歌を聴きました。自分の学校の一つ前に舞台上手に集合、演奏後、自席に戻り、他校の校歌を引き続き聴きました。

どの高校も自校の校歌に誇りを持っており、胸を張って歌う様子は、私たちに大きな共感をよび起こし、一体感を持って楽しむことができました。私もいつも以上に応援歌、花、そして校歌と会場全体を包み込むような幸せな気分が指揮ができ、歌うことができました。とても楽しい経験でした。

今年も10月18日(日)、昨年と同じ杉並公会堂で行います。ぜひ多くの方がご参加くださいますよう、お願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。



# 梶原徳二氏墨水会前会長(高校4回) 「春の園遊会」にお招きされる

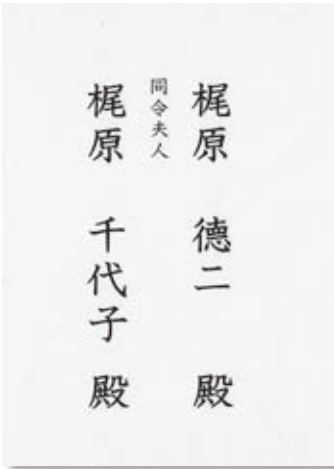
春の園遊会は、天皇皇后両陛下が主催され、例年春と秋の2回、赤坂御苑で開催される社交の場で、招待客は宮内庁が各省庁に依頼し人選されます。政治家・公務員の各機関の要人、産業・文化・芸術・社会事業など各界功績者とそれぞれの配偶者が招待されています。

明家・経営者としてこれまでに、御法川発明賞、通商産業大臣賞、食品産業厚労賞、食料産業特別貢献大賞を受賞。令和2年旭日小綬章を受章。  
また、産学官連携事業や地方イノベーション支援を実施している他、教育支援活動にも携わり産業と教育の橋渡しを担った功績により、宮内庁長官から文部科学省を通じてご招待を賜り「2025

年春の園遊会」に参列されました。  
梶原ご夫妻は、皇室の方々が多数お出になられていた中、両陛下のご尊顔を拝することが出来、参列された旧知の方々のご歓談を楽しまれたとのことでした。  
梶原前会長は、母校の創立100周年事業には多額の寄付金(10000万円)と、図書館および自習室のリニューアル費用全額を負担いただき、現役生徒の学習環境を整え学習意欲向上に多大な貢献をしていただきました。  
今後ともご健勝で益々活躍されますと共に、母校墨田川高校のため引き続き墨水会活動へのご助言・ご指導を宜しくお願いいたします。

数々のご功績が認められ、  
令夫人とご参列

梶原氏は煮炊攪拌機を世界で初めて開発し、食品機械分野の自動化技術を切り開き、以来、加熱・攪拌・成形機などの特許を多数取得し、食品製造現場の効率化と品質向上に寄与され、実業家・発



## 第75回墨田区功労者表彰 「教育振興功労」を受彰して

令和七年五月十五日、墨田区功労者表彰式において、教育振興功労者として山本亨墨田区長より表彰を賜りました。多年にわたり、法務省東京保護観察所のもと保護司として地域社会に携わってきた活動をご評価いただいたものと、身の引き締まる思いしております。

精神を胸に、地域と教育、更生保護活動に微力ながら貢献してまいりたいと存じます。

墨水会 副会長  
宮本 雄司(高校30回)

また、令和7年度「社会を明るくする運動」中央集会では、都立墨田川高校の生徒が受賞作文を朗読し、活動の意義が確かに次代へ受け継がれていることを実感しました。今後も母校の



三村明夫 ご夫妻  
(元日本・東京商工会議所会頭)

山田憲典氏  
山崎製パン(株)長老  
(株)不二家社長

# 同期会

## 高30回生 七高時代と六五歳同窓会

金田(市瀬)志津雄

令和7年5月10日、旧業平橋駅で下車してスカイツリーを見あげながら会場である三州家へと向いました。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥

わが思ふ人はありやなしやと

我々第30回生も65歳です。既に鬼籍に入

られた方もいらっしゃいます。

私の親友の山本さんもその内の一人です。

私は若くして亡くなった彼の分まで楽しく

幸せに生きると決め日々を暮らしています。

亡き親友(とも)も輝いている生き生きと

心の中の高校時代

亡き親友の分まで生きる決意して

楽しく豊かいつも一緒だ

業平の場合は恋しい人は生きていて彼の出世にも手助けしてくれたようですが、我々の人生をより輝きのあるものにして

いることには、かわりはありません。

会場には依田さん、宮本雄司さんからの

素晴らしいお酒が飾られていました。私は、

十四代や森伊蔵を早く飲みたいと心から

思いました。

素晴らしい酒が並んで待っている

友の計らい喜び受ける

友がいてお酒がありてひと時を  
楽しむ時間至福の時よ

会には我々よりも若々しい由良先生もご出席して頂きました。酔う前に先ず記念写真を撮りました。片倉さんの素晴らしいカメラを使い、アングルはテレビプロデューサーをしていらつしやる高安さんが、机を動かさしつかりと決めてくださいました。

飲む前に記念写真を撮っておく

凄いカメラとプロの演出

またあの素晴らしい七高校歌を音楽部を中心に合唱をすれば、心は10代へと向かいます。

校歌聴く入学式で感動が

愛校心がじわりと湧いた

65歳50名程の仲間は、話していくうちに心は10代へと戻って行きます。

ある者はふんどしで応援をしたことを、部活で頑張ったことを、伊藤屋や百花園へ行つたこと等々の思い出を語り、若い

顔は益々若くなつて行きました。

伊藤屋は大きなオバサン小さめの

オジサンがいた青春の店

百花園映画撮つたり写生した

下町文化味わいながら

ふんどしで応援をする体育祭

思いは巡る人はそれぞれに

後夜祭キャンプファイヤーダンスした

淡い思いを抱きながらも

一人ずつの語りの中で、私の心を釘付けにしたのは、現在哲学を学んでいると語つた話でした。中学浪人をして七高に入学した

佐々木さんの影響が今でも残つていてと言う話でした。

私は、部員50名前後で女子の多い華やかな音楽部として文化祭では「サウンドオブミュージック」のトラップ大佐をしたりもしました。

その一方で佐々木さんと二人で文芸部を作り「はかなき序章」と言う冊子を作り出しました。

佐々木さん

は、本で理論

武装していま

した。

私は、カミュ

やサルトル、

ランボー、ベ

ルレーヌ等々

のフランスの

哲学、文学に

初めて触れの

めり込んで行

きました。

あの頃の七

高のパワーは、物凄いものでありました。まさに青春、混沌として華やかで暗くて楽しくて、悲しかった時代でした。

解放区やりたいことをやっていた

個性むき出し尊重しながら

いくつかの茶店があった片隅で

議論交わした熱きおもいで

それぞれが分けの分からぬエネルギー

爆発させてた七高生よ

二次会も三州家さんでやらせていただきました。

浅草「えん」の女将の泉さん、今でも合唱バリバリのゆかりさんの歌声は特に美しく私の心に響きました。

## 45回生 定期同窓会

45回生 杉崎 真嗣

キラキラと輝きを増す懐かしい  
高校時代時経つほどに

「よう！久しぶり！1年ぶりの再会で、そんな言葉が飛び交うのは両国にある同級生の店「旬の魚と酒さとう」。毎年末にドイツ・韓国等の海外組もこの日に合わせて帰国し、20〜30人が集う。

きっかけは店主がB族であることからB族の仲の良いメンバーが店を利用させてもらったのミニ同窓会。そこから部活関係等で広がっていき、長期休暇が取りやすくなった、年の節目である年末12月29日に毎年集まる事となった。

初回はいつだったか忘れてしまったが、少なくとも7〜8年前には始まっていたと思う。年に1度きりの顔合わせとなる人物もいる。しかしながら、会えばやはり高校時代の話ですぐに盛り上がる。

昔フサフサ今ツルツル、昔ガリガリ今コロコロ、外見は大きく変わつてしまつていても、集えば心はあの頃へ。時にはゲストで先生にも加わつていただき、さらに話は盛り上がる。また来年末を



楽しみに1年を駆け抜けていく。

# 墨田川高校

## 学校運営連絡協議会報告

(以下、協議会)

協議会の目的は、学校の教育活動が保護者・地域社会に理解され、学校運営に保護者・地域社会の意向が反映され、学校が地域に根ざし、より発展していくことである。年3回協議会が開催される。構成は内部委員(管理職、経営企画室長、分掌主任)と外部委員(有識者、近隣中学校長、地域有識者、保護者代表、同窓会代表)であり、同窓会代表として、令和6年度・7年度は小川会長、山田副会長が外部委員として出席している。学校の状況や実情を把握し、同窓生として学校運営に資する意見などを協議会で伝えつつ、学校支援を常に意識し、学校関係者に同窓会組織への認識を深めていただくよう努めている。

令和6年度・7年度の学校の状況は次の通りである。

### 〈進路状況〉

学級数が1減であった令和5年度に比し、令和6年度は国公立大学合格者の増加は見られなかったが、難関・中堅私大(早慶上理、GMARCH、日東駒専など)は回復・増加が見られ、単位制進学指導推進校としての片鱗は見られた。

### 〈入試応募状況〉

令和7年度応募状況は推薦・学力ともに厳しく、令和8年度向けに総務部を中心に募集対策に力を置き、内部・外部での説明会や見学会、自校作成問題ガイダンスなどを工夫し、参加中学生・保護者の人数は増加が見られ、8

年度入試については一定程度希望が持てる。

### 〈学校運営のデジタル化・DX等の推進〉

通信環境の整備をベースに、様々なシステムの導入・データ連携の推進により、学校運営や生徒・保護者への連絡などを効率化している。教員の働き方改革に資する様々な取組みも見られる。HP更新回数増や内容充実などの成果で、アクセス数は飛躍的に伸びており、情報発信の成果が見られる。今後SNS(Xなど)の活用も視野に入れているが、セキュリティの確保が課題である。

### 〈探求的学習の推進〉

独立した分掌組織としての「探求推進部」を中心に、キャリア探求・学問的探求意識を育成している。大学(例 千葉大への1年生全員訪問)や外部機関(例 経団連からの探求講師招聘)との連携、探求計画発表会・校内報告会などを機に、探求的学習の成果向上につなげている。

### 〈英語教育、国際教育の推進〉

都から補助を受けた英検の全員受験、シンガポール研修旅行(夏休み)の取組みなど、生徒の着実な英語力の向上、直接的・間接的な国際理解の深化が果たせる環境が整備されている。

### 〈行事、部活動、生徒会活動など〉

体育祭・七高祭・合唱祭は、実行委員会を中心に生徒自らが考え取り組む姿勢が伝統的に貫かれている。準備や運営も生徒が主体的に行っている。七高祭来場者は7年度、約3,500名。部活動は、体育系で水泳部が関東大会・インターハイの出場、ボート部が関東大会出場など顕著な成績を挙げている。また文化系の部活動も吹奏楽部のコンクール金賞(都大会代表)を初め多くの部で実績を残している。学校全体で部活動を通じ、活気ある学校生活が継続している。一方、生徒会が墨田特別支援学校と連携し文化祭交流を行うなど、地域に根ざした活動を進めている。

(文責 副会長 山田)



# 東京都立墨田川高等学校

## 第77回生 合格実績一覧

(2025年4月2日現在)  
進路指導部

大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者	大学名	合格者				
<b>国公立</b>	<b>19</b>	武蔵大学	8	十文字学園女子大学	1	二松学舎大学	4				
京都大学	1	<b>日東駒専</b>	<b>220</b>	秀明大学	1	日本女子大学	5				
お茶の水女子大学	1			日本大学	83	日本赤十字看護大学	1				
千葉大学	1			東洋大学	89	フェリス学院大学	1				
埼玉大学	1			駒澤大学	29	文化学園大学	1				
東京学芸大学	3			専修大学	19	文教大学	11				
東京都立大学	4			<b>四工大</b>	<b>35</b>	清泉女子大学	2	文京学院大学	3		
東京藝術大学	1					工学院大学	3	武蔵野大学	20		
福島大学	2	芝浦工業大学	11			武蔵野美術大学	2				
北見工業大学	2	東京電機大学	13			明治薬科大学	1				
釧路公立大学	1	東京都市大学	8			明星大学	2				
群馬女子大学	1	<b>大学校</b>	<b>1</b>			大正大学	23	目白大学	7		
埼玉県立大学	1					国立看護大学校	1	立正大学	9		
<b>早慶上理</b>	<b>25</b>			<b>私大</b>	<b>354</b>	拓殖大学	5	龍谷大学	1		
						早稲田大学	9	玉川大学	5	流通経済大学	2
						慶應義塾大学	3	多摩美術大学	2	麗澤大学	3
上智大学	5					千葉工業大学	45	和洋女子大学	4		
東京理科大学	8					千葉商科大学	4	<b>専門学校</b>	<b>12</b>		
<b>GMARCH</b>	<b>102</b>	津田塾大学	1			大原医療秘書福祉保育専門学校	1				
		学習院大学	9			帝京大学	5			昭和大学医学部付属看護専門学校	1
		明治大学	26	帝京科学大学	2	中央医療技術専門学校	1				
		青山学院大学	12	帝京平成大学	1	TCA東京ECO動物海洋専門学校	1				
		立教大学	17	東海大学	8	道灌山保育福祉専門学校	1				
		中央大学	8	東京有明医療大学	1	東京警察病院看護専門学校	2				
		法政大学	30	東京医療保健大学	6	東京電子専門学校	1				
<b>成成明学獨國武</b>	<b>73</b>	SBC東京医療大学	1	東京メディカルスポーツ専門学校	1						
		桜美林大学	5	都立板橋看護専門学校	1						
		大妻女子大学	13	西新井看護専門学校	1						
		学習院女子大学	2	日本菓子専門学校	1						
		神奈川大学	4	<b>就職</b>	<b>1</b>						
		神田外語大学	6			ALSOK関東デリバリー株式会社	1				
		北里大学	4								
共立女子大学	14	共栄大学	1	<b>就職</b>	<b>1</b>						
杏林大学	2	杏林大学	2								
国士舘大学	5	東京農薬大学	9								
産業能率大学	1	東京薬科大学	2								
実践女子大学	17	東邦大学	4								
東洋学園大学	2										

### 【進路状況】

四年制大学	263
短期大学	0
専門・各種学校	12
就職進学（大学校等）	1
公務員	0
民間企業	1
他（進学準備等）	27
合計	304

### 【合格状況】

国公立大学	19
国公立大学校等	1
国公立合計	20
早慶上理	25
GMARCH	102
関関同立	0
その他私大等	682
私立大合計	809
短大	0
合計	829

専門・各種学校	12
公務員	0
企業就職	1
他（進学準備等）	27
四年制大学進学率	86.5%



# 今年度の主な部活動実績

## 水泳部

〈東京都春季大会上位入賞〉

男子100m平泳ぎ 男子200m平泳ぎ 女子400m自由形  
女子200m個人メドレー 女子400mフリーリレー  
女子400mメドレーリレー

〈東京都高等学校選手権大会上位入賞〉

男子100m平泳ぎ 男子200m平泳ぎ 女子400m自由形  
女子800m自由形 女子400m個人メドレー  
女子400mフリーリレー

〈関東大会 兼 インターハイ予選会 出場 (7種目)〉

男子100m平泳ぎ 男子200m平泳ぎ 女子400m自由形  
女子400m個人メドレー 女子800m自由形  
男子400mフリーリレー 女子400mメドレーリレー

〈インターハイ出場 (3種目)〉

男子100m平泳ぎ 男子200m平泳ぎ 女子400m自由形

〈東京都新人大会上位入賞〉

男子200m平泳ぎ 男子100m背泳ぎ  
女子200m個人メドレー 女子400m自由形  
男子400mフリーリレー 男子200mフリーリレー  
女子400mフリーリレー

## ボート部

〈関東高等学校選抜ローイング大会〉

女子舵手付きクォドルブル 出場

## 吹奏楽部

第65回東京都高等学校吹奏楽コンクール

A組 金賞 同 B組 金賞

\*金賞受賞校から代表校(12校)として都大会に出場

## 文芸部

令和7年度第47回東京都高等学校文化祭文芸大会

地区大会 短歌部門 最優秀賞

中央大会 俳句部門 東京都5位

中央大会 小説部門 東京都2位

文化連盟会長賞 短歌 最優秀賞 東京都1位

## 書道部

全国優良団体賞(毛筆の部)全国で優良な10団体に選出

第41回成田さん全国競書大会 推薦日輪賞2名

第41回高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会

毛筆の部日本武道館賞4名

## サッカー部

インターハイ東京都支部予選 3回戦(ブロック決勝)進出

新人戦 地区大会 3回戦進出

## \*\*\*スポーツ特別推薦

### 柔道部

柔道部は、男子7名、女子1名、女子マネージャー2名の計10名で活動しています。

合言葉は「挑戦」、勉強も部活も高い目標に向かって「挑戦」する気持ちを胸に「心・技・体・礼」を磨き「一本」とる柔道を目指し関東大会出場を目標に稽古に励んでいます。

部員は少ないですが、週5日間の活動を行い、トレーニング、かかり稽古、約束練習、乱取稽古を中心に日々厳しい稽古に打ち込んでいます。100名以上が集まる夏の合同合宿や、カナダ、フランス、ポーランドの柔道クラブとの交流も頻繁に行っております。

「精力善用」「自他共栄」という言葉のように、柔道を通じた人間力の向上を目指し、卒業後も社会の一員として活躍できる人を目指しています。

### 活動実績

R5年度インターハイ東京都大会 団体女子ベスト8(第5位)

R5年度関東選抜東京都大会 個人66kg級ベスト8(第5位)

R5年度関東選抜大会 個人女子78kg級出場

R5年度東京都国公立大会

団体男子準優勝

個人男子86kg級優勝

女子中量級優勝

R6年度東京都国公立大会

団体男子準優勝

個人男子66kg級準優勝

R7年度インターハイ東京都予選 男子団体ベスト16

## 部活動紹介・報告\*\*\*

### 女子バレーボール部

女子バレーボール部は2年次生6名、1年次生8名の計14名で活動しています。

バレーボールを通じて「人として成長すること」を目標として日々練習しています。仲間と共に技術面を磨き、チーム力を高められるように意見を出し合い、切磋琢磨しています。日頃からコミュニケーションを大切に、ぶつかることがあってもお互いの意見を尊重し伝え合うことを大切に、部全体の成長へ繋げています。

練習では今の自分たちに足りない部分を考えメニューを立て、試合を意識した練習になるようにそれぞれが声をかけ合って技術向上に努めています。また夏には長野県へ合宿に行き、チームを形作りながら基礎を固め、大会へ向けて暑い中頑張りました。その結果、江戸川近隣大会、上野カップ等の大会をはじめ、高体連主催の新人大会のリーグ戦では優勝することができ、成果を出すことができました。また、墨田区民大会に参加させていただきバレーボールを通して地域の方たちとの交流を深めることができました。

今後も、墨田川生としての自覚と誇りを持ち、日頃から支えてくださる方々への感謝を忘れずにバレーボールを全力で楽しみ、全力で取り組んでいきます。そしてバレーボール部で過ごした時間が後悔のないものとなるよう頑張っていきます。

### 活動実績

令和6年度東京都高等学校春季大会 リーグ優勝 東京都ベスト48

令和6年度東京都高等学校インターハイ予選 東京都ベスト80

令和6年度東京都高等学校夏季大会 第3位

令和6年度墨田区大会 準優勝

令和7年度東京都高等学校春季大会 リーグ優勝

令和7年度東京都高等学校新人大会 リーグ優勝

(上位大会は感染症により棄権)



柔道部(特別推薦部活動)



女子バレーボール部(特別推薦部活動)



水泳部(関東大会出場)



水泳部(インターハイ出場)



ボート部(関東大会ローイング出場)



吹奏楽部 コンクール金賞(文化祭での演奏)



体育祭(足立区舎人公園競技場)



七高祭(文化祭)

**編集後記**

令和7年11月の第1回広報委員会から今年2月上旬まで編集に当たりました。今号では、カラーの最終ページを含め現役高校生の活躍を掲載しました。

よりよい同窓会だより発刊に向け、皆様からご投稿・ご提案を奮ってお寄せ下さいますよう、お願い致します。

墨水会広報委員長 二八回 山田 温  
 広報委員 十三回 横井正男  
 広報委員 十五回 谷澤尚樹  
 広報委員 十五回 竹鼻宏子  
 広報委員 十七回 清澤健一

「墨水会だより」 第33号